

令和7年度 静岡県中学生創造ものづくり教育フェア 「木工チャレンジコンテスト」実施要項

1 主催 静岡県教育研究会 技術・家庭科教育研究部

2 目的

- (1) 生徒自身が意欲的にものづくりに親しみ、楽しもうとする態度を身に付ける。
- (2) ものづくりの活動を通して、生徒自ら「構想する力」や「製作技能」を高める。
- (3) 全国中学生創造ものづくり教育フェア木工チャレンジコンテストの静岡県予選大会として位置付ける。

3 期日 令和 7年 8月19日(火) 午前 8時30分受付 午前 9時00分開会式

4 会場 静岡大学教育学部附属浜松中学校
〒432-8012 静岡県浜松市中央区布橋3丁目2番2号

5 参加資格

以下の全ての条件を満たすこと。

- (1) 静岡県内の中学校に在籍する生徒で、学校長及び保護者が参加を認めた生徒。
- (2) 1校あたり出場できる人数は2名以内とする。
- (3) 会場の関係で参加人数は最大18人程度とする。申込み者数多数の場合は、参加受付を途中で締め切る場合もある(受付は先着順とする)。
- (4) 大会の結果、参加者の肖像・氏名・学校名等の個人情報を、テレビ・新聞・DVD等の媒体や、大会ホームページ等へ、報道及び広報目的で提供・利用することに保護者が承諾した者。

6 競技内容

(1) 製作競技

① 課題

- ・当日配布する構想図と写真等をもとに1枚の板から指定された作品を製作する。
- ・中学校(技術科)の授業で学習する製作物を基準とする。

② 設計・製作条件

- ・構想図をもとに材料取りを行い、部品加工および組立てをする。
- ・作業時間は、構想と製作で3時間以内とする。
- ・事務局が支給する材料(寸法: t 15×W200×L 1200、数量: 1枚)を使用する。
なお、材料の樹種は事務局に一任とする。
- ・接合は「釘」と「接着剤」のみ使用可とし、事務局が用意する。
- ・製作には次の工程を含むこと。工具は事務局で用意したもの以外は使用できない。

- | | |
|---------------|---------------|
| イ さしがねによるけがき | ロ 両刃のこぎりによる切断 |
| ハ 平かんなによる部品加工 | ニ 釘打ちによる組立て |
| ホ 直角定規等による検査 | |

③ 支給材料

- ・木材(寸法: t 15×W200×L 1200、数量: 1枚)
- ・接着剤(木工用)
- ・丸頭釘(32mm) 任意の本数

④ 会場準備工具等

- ・Fクランプ×2
- ・さしがね(長手500mm)
- ・直角定規
- ・両刃のこぎり
- ・平かんな
- ・四つ目ぎり
- ・両口げんのう
- ・削り台
- ・紙やすり
- ・バケツ(水が入っている)
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・ゴミ袋

⑤ 参加者個人で準備する道具等

- ・捨て板
- ・当て木
- ・鉛筆(赤鉛筆も可)
- ・鉛筆削り
- ・消しゴム
- ・タオル
- ・雑巾

※切断などの加工に用いる治具の使用は認めない。

※大会要項に記された物以外の使用は認めない。

⑥ 注意事項

- ・競技中、指導者や関係者による助言等は一切禁止する。
- ・大会参加者には、当日使用する材料と同等のものを事前に支給する。

(2) プレゼンテーション

製作競技終了後、製作意図などについてのプレゼンテーションを行う。

7 評価の観点・審査方法

次の3つの項目について、減点法で審査を行う。

- (1) 構想（条件に合った設計および材料取り）
 - (2) 技術度（材料取り、部品加工、組立て、仕上げの各工程における製作技能）
 - (3) 完成度（組立て、仕上がりの加工精度）
- ※プレゼンテーションは審査の対象としない。

8 日程

8:30～	受 付
9:00～	開会式
9:30～11:30	競技①（前半2時間）
11:30～12:15	昼 食
12:20～13:20	競技②（後半1時間）
13:30～14:00	プレゼンテーション
14:00～	作品審査・集計・感想記述
14:30～	閉会式（審査結果発表及び表彰、審査委員長講評）・写真撮影

※参加者数によりプレゼンテーション以降の時間が変更となる可能性もある。

9 表彰

・最優秀賞 1名 ・優秀賞 2名 ・優良賞 若干名

最優秀賞の生徒は、静岡県代表として、全国中学生創造ものづくりフェア「木工チャレンジコンテスト」への推薦資格を得る。推薦にあたっては、「全国中学生創造ものづくり教育フェア・木工チャレンジコンテスト実施要項」に従う。

☆全国大会応募様式は、全日本中学校技術・家庭科研究会全国中学生創造ものづくり教育フェアホームページ「<http://www.ajgika.ne.jp/fair.html>」と、木工チャレンジコンテストホームページ「<http://www.ajgika.ne.jp/~mokkou/>」からダウンロードする。

☆全国大会出場に必要な費用等は、全て参加者負担となる。

10 参加申込み

7月22日（火）必着で、以下申込み担当まで、別紙参加申込書に必要事項を記入して送付する。申込み方法は、郵送、FAX、メール（メールの場合はPDFにて添付する）とする。

その後、申込み担当より、受付の旨を申込書記載のE-mailアドレスへ返信する。1週間以内に返信がない場合には申込み担当まで電話で確認をすること。

申込み担当	浜松市立蛸塚中学校	水野 佳史
	〒432-8018	静岡県浜松市中央区蛸塚二丁目15番1号
	TEL (053) 453-0171	FAX (053) 453-0172
	E-Mail : shijimizuka-j@city.hamamatsu-szo.ed.jp	

11 その他

- (1) 大会本部は、行き帰りを含め大会中の事故・怪我等について責任を負わない。
- (2) 参加費は徴収しない。
- (3) 服装は、学校のジャージ等動きやすい服装でよい。
- (4) 弁当および飲み物、上靴を持参する。
- (5) 大会当日、体調のすぐれない場合は参加を自粛する。

浜松市立蜷塚中学校

水野 佳史 宛

FAX：(053) 453-0172

E-Mail：shijimizuka-j@city.hamamatsu-szo.ed.jp

送信日

月

日

令和7年度 静岡県中学生創造ものづくり教育フェア
「木工チャレンジコンテスト」

【参加申込書】

7月22日（火）必着

学 校 名		中学校		
担当教員氏名				
E-Mailアドレス				
携帯などの連絡がつく電話番号		— —		
No.	ふりがな 参加生徒氏名	学 年	性 別	大会の結果、参加者の肖像・氏名・学校名等の個人情報、テレビ・新聞・DVD等の媒体や、大会ホームページ等へ、報道及び広報目的で提供・利用する旨の保護者の承諾を確認してください。 ※□：し点を記入
1				☐ 確認した
2				☐ 確認した
その他（連絡事項）				
※大会本部に事前に連絡することがあれば書いてください。				

令和7年度 静岡県中学生創造ものづくり教育フェア
「木工チャレンジコンテスト」
参加者用資料

①日程、会場等

【期日】 令和7年8月19日（火） 【会場】 静岡大学教育学部附属浜松中学校

【日程】 8:30 受付
9:00 開会式
9:30～11:30 競技①（前半2時間）
11:30～12:15 昼食
12:20～13:20 競技②（後半1時間）
13:30～14:00 プレゼンテーション
14:00 作品審査・集計・感想記述
14:30 閉会式

②持ち物

- ・弁当 ・水筒 ・タオル ・雑巾 ・上靴
- ・捨て板 ・当て木 ・鉛筆（赤鉛筆も可） ・鉛筆削り ・消しゴム

※使用する工具は全て大会本部で用意するため、切断などの加工に用いる工具や治具などにおいて、大会要項に記された物以外は使用できません。

③服装

- ・各学校の体操服およびジャージ等、動きやすい服装。

④評価観点

評価項目			評価観点	配点	合計
構想			●条件に合った構想をしているか。 ●繊維方向を考えた材料取り（木取り）をしているか。 ●作業効率を考えた材料取り（木取り）をしているか。	10点 (減点法)	10点
評価項目			評価観点	配点	合計
技術度	材料取り 部品加工	さしがね のこぎり かな 等	●正しく、安全に道具を使っているか。 ・さしがねの使用方法 ・のこぎり縦びき、横びきの使い分け ・かなの刃の調整 ・道具と木目の相性を考えた使用 ・材料の固定 ・さしがね、直角定規等による検査 他	15点 (減点法)	30点
	組立て 仕上げ	げんのう きり 等	●手順よく、安全に組立てができていますか。 ・げんのう、きりなどの正しい使用 ・材料の固定 ・直角定規等による検査 他 ●机上の整理整頓がされているか。	15点 (減点法)	
評価項目			評価観点	配点	合計
完成度	加工精度	組立て	●部材が直角や平行にきちんと接合できているか。 ●各部材の木目方向が正しく接合されているか。 ●釘等の本数や接着剤をつける場所をよく考えて、ぐらつきなく丈夫に組立ててあるか。 (構造強度も含める)	20点 (減点法)	20点
		仕上がり	●打撃痕など材料の傷がないか。 ●きれいに仕上がっているか。 ●かなによる仕上げが適切か。		

※評価については、実行委員会が準備を進めていく中で、当日までに変更となる場合もあります。